

わたしたちのまちの予算

6月補正額は全会計合せて、**8億3千万円**

当初予算は新規事業を計上しない「骨格予算」であったため、令和3年度6月補正予算は、新規事業を追加した「肉付け予算」としてきます。

■ 予算規模

	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	118億2,250万4千円	6億6,799万6千円	124億9,050万円
簡易水道事業特別会計	3億7,860万9千円	3,851万4千円	4億1,712万3千円
公共下水道事業特別会計	5億4,946万4千円	1億1,270万円	6億6,216万4千円
集落排水事業特別会計	2億5,761万4千円	697万6千円	2億6,459万円
合計	190億9,247万9千円	8億2,618万6千円	199億1,866万5千円

(注)6月補正予算が無い会計は掲載していません。

越前さん家の家計簿

ここでは、越前町一般会計（6月補正予算までの総額）を、1000分の1で置き換えて、家計簿のように表しています。

収入		支出	
①収入	196万円	①生活費	676万円
・町税（町民税や固定資産税など、みなさんが納めた税金）		・人件費（各種委員の報酬や職員給与に必要なお金）	
②財産・臨時収入	52万円	・物件費（施設の管理費や事業の委託料）	
・使用料（町の施設や設備の利用料など）		・補助費等（団体などに対する負担金や補助金）	
・負担金（町の事業で利便を受ける人が負担するお金）		②医療費	192万円
・諸収入（貸付金の元利収入や団体・個人からの負担金など）		・扶助費（子どもや高齢者、障がい者の福祉などに必要なお金）	
・財産収入（町の土地などの売却代金）		③借金の返済金	128万円
・寄附金（個人や団体から寄付されるお金）		・公債費（町債の元金及び利子の支払いに必要なお金）	
③貯金の取崩し	109万円	④家の増築や家財などの購入費	118万円
・繰入金（町が積み立てているお金（基金）の取崩し）		・普通建設事業費（町の施設や道路などの新・増築や大規模な設備の購入に必要なお金）	
④前年度の残金	24万円	・災害復旧費（被災した施設の復旧に必要なお金）	
・繰越金（前年度決算からの繰越金）		⑤修繕費	15万円
小計(A) ※自主財源	381万円	・維持補修費（施設の修繕に必要なお金）	
⑤支援金	784万円	⑥子どもへの仕送り	102万円
・地方交付税（財源不足に対して国から交付されるお金）		・繰出金（特別会計や事業会計に支出されるお金）	
・国・県からの補助金（法律などに基づく交付金や事業の実施に対する補助金）		⑦貯金	13万円
⑥借金	84万円	・積立金（将来のために基金に積み立てるお金）	
・町債（銀行などからの借金）		⑧知人への貸付金	4万円
小計(B) ※依存財源	868万円	・貸付金（団体などに対し貸し付けるお金）	
収入合計(A)+(B)	1,249万円	⑨予備	1万円
		・予備費	
		支出合計	1,249万円

■ 主な事業

●町指定ごみ袋の値下げ
町指定ごみ袋（可燃ごみ・プラ）の販売価格を、現在の1袋あたり500円から250円に値下げします。この結果、ごみ袋の販売代金に係る町の収入が減ります。
※詳しくは、9ページをご覧ください。

〔△900万円〕

●道路網の整備
国からの補助金を受け、町道の改良や補修、橋の点検を行います。また、幹線町道（3箇所）を長寿命化するための改良（舗装）を行います。
〔1億2,500万円〕

●下水道などの整備
国からの補助金を受け、下水処理場の統廃合計画に基づき、下水処理区域を見直します。
〔1億670万円〕

●憩いの場の整備

宮崎コミュニティセンターに併設している農村環境改善センター（昭和62年建設）の屋根を改修します。
〔3,700万円〕



▲宮崎農村環境改善センター（建物の左側）

●宅地・住宅の整備

国からの補助金を受け、町営住宅長寿命化計画に基づいた改修（屋根防水、外壁改修）を行います。
〔3,700万円〕

●災害の予防

国や県からの補助金を受け、ふるさと林道厨小曾原線などの改良工事や玉川漁港の越波被害防止対策を行います。
〔2,530万円〕

誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

●子育て支援の充実

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり一律5万円が給付されます。
※詳しくは、9ページをご覧ください。

〔1,748万6千円〕

●結婚・出産しやすい環境と交流機会の創出

出産育児祝い金として、第1子・第2子出産の場合は新たに3万円を、第3子以降出産の場合はこれまでの5万円から30万円に拡充して給付します。
※詳しくは、9ページをご覧ください。

〔1,005万円〕

人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

●学校教育環境の充実

ふるさと再生基金を活用し、町内すべての小中学校の情報教育関連備品（大型提示装置（プロジェクター型、ディスプレイ型）を整備します。
〔8,349万8千円〕



▲大型提示装置（プロジェクター型）

ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

●観光産業の活性化

利用者のサービス向上と安定した施設運営を図るため、悠久ロマンの杜朋楽館の茅葺屋根の葺き替えを行うほか、道の駅「パークイン丹生ヶ丘」の改修工事を行います。
〔8,681万円〕



▲パークイン丹生ヶ丘

また、誘客戦略として、北陸新幹線開業を見据え、新幹線の利用による首都圏からの宿泊需要に対応するため、民宿リニューアルにかかる改修費用の一部を補助します。
〔1,502万円〕

